

SIP自動走行システムの研究開発体制

<実施体制>

総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)

ガバニングボード

課題ごとに以下の体制を整備

PD(プログラムディレクター)
(内閣府に課題ごとに置く)



推進委員会
PD(議長)、担当有識者議員、
内閣府、関係省庁、外部専門家

関係省庁・研究主体

- SIP 自動走行システム (略称 : SIP-adus)
Cross-Ministerial Strategic Innovation Promotion Program
Innovation of Automated Driving for Universal Services
- 「自動走行システム」の研究開発
平成26年度 : 約25億円
平成27年度 : 約23億円
平成28年度 : 約26億円
〔PD取りまとめの下、関係省庁(警察庁、総務省、
経産省、国交省)等が連携して推進〕

「自動走行システム」プロジェクト

自動走行システム
推進委員会

委員長 : 葛巻PD(トヨタ)
構成 : ITS関係省庁、自動車メーカー、
学識経験者、自動車関連団体
等が参加

大規模実証実験企画 TF

大規模実証実験の実施内容・
場所・規模の検討

システム実用化WG

- [I] 自動走行システムの開発・検証
- [II] 交通事故死者低減・渋滞低減のための基礎技術の整備

国際連携WG

- [III] 国際連携の構築

次世代都市交通WG※

- [IV] 次世代都市交通への展開

地図構造化TF

地図情報の高度化に関する
調査・検討

※CSTI「2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた科学技術イノベーションの取組に関するタスクフォース」推進会議WG4を兼ねる。

司令塔
連携

内閣官房
IT総合戦略室



内閣府

PD

推進委員会

座長：PD（葛巻清吾）
 事務局：内閣府
 委員：サブPD（有本建男、福島正夫、杉本洋一）
 内閣官房、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省
 他

一部
直執行

移し替え

システム実用化WG
 主査：稲垣敏之

国際連携WG
 主査：天野肇

次世代都市交通WG
 主査：大口敬

警察庁

【研究主体】

総務省

【研究主体】

経済産業省

【研究主体】

国土交通省

【研究主体】

【研究主体】